



# おにぎり通信

2023年6月10日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

先日、厚生労働省から「ホームレスの実態に関する全国調査」の結果が発表されました。今年1月に調査されたもので、公園や河川敷、道路、駅などで路上生活をしている人の数は、全国で3,065人(うち東京23区で604人)という結果でした。以前と比べてみると、その数は大きく減っています。

	2023年 (今年)	2018年 (5年前)	2013年 (10年前)	2008年 (15年前)
全国	3,065人	4,977人	8,265人	16,018人
うち東京23区	604人	1,126人	1,787人	3,436人

福祉行動を希望の方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

日付	11日 (日)	12日 (月)	13日 (火)	14日 (水)	15日 (木)	16日 (金)	17日 (土)	18日 (日)
東京都 千代田区	雨時々曇 22/20 80%	曇一時雨 25/21 60%	曇時々雨 27/20 90%	曇一時雨 26/22 50%	曇のち雨 27/20 60%	曇一時雨 27/20 80%	晴 28/21 20%	曇時々晴 28/20 30%

## ぎょうせい しえんじぎょう 【行政による支援事業】

ろじょうせいかつ ひと かず へ りゆう ぎょうせい  
路上生活をする人の数が減っている理由のひとつとして、行政  
が、いろんないしえんじぎょう おこな  
な支援事業を行っていることが挙げられます。東京で  
は、いかにしえんじぎょう おこな  
以下のような支援事業が行われています。もう少し詳しく話を  
き  
聞いてみたいものがあるれば、いつでも私たちに声を掛けて下さい。

- じゆんかいそうだんじぎょう じちたい しょくいん ろじょうせいかつ ばしょ い はなし  
巡回相談事業：自治体の職員が、路上生活の場所に行って話を  
し、その人が使える制度を紹介して利用を働きかける。
- きんきゅういちじほ ごじぎょう じりつしえん つか いちじてき げんそく  
緊急一時保護事業：自立支援センターを使って、一時的（原則と  
してしゅうかんいなし  
2週間以内）な保護（寝る場所や食べ物、着る物など）を受け  
け、からだ ところ やす けんこうかいふく はか  
体と心を休めて健康回復を図る。
- じりつしえんじぎょう じりつしえん せいかつ げんそく かげついな  
自立支援事業：自立支援センターで生活（原則6ヶ月以内）し  
て、しえん う つづ しごと さが  
支援を受けながら仕事を探す。
- ちいきせいかつけいそくしえんじぎょう はたら はじ じりつしえん  
地域生活継続支援事業：働き始めて、自立支援センターからアパ  
ートなどにうつ じりつ ひと ふたたび ろじょうせいかつ もど  
り移って自立した人が、再び路上生活に戻らないよう  
に、しえん う つづ げんそく ねんいなし  
支援を受け続ける（原則1年以内）。
- しえんつきちいきせいかついこうじぎょう こうれい ろじょうせいかつ なが ひと  
支援付地域生活移行事業：高齢で、路上生活が長くなった人が、  
しえんつきじゅうたく こしつ いちじてき げんそく かげついな りゆう うつ  
支援付住宅（個室）を一時的（原則6ヶ月以内）に利用して、移  
す  
り住むためのアパート探しをする。



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい  
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会  
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようび ごご じ じ  
連絡先 080-7967-8672（連絡可能時間 毎週土曜日午後3時～6時）